

四日市市観光大使（第4期選任）※五十音順 敬称略

<スポーツ部門>

・浅井 康太（あさい こうた） 競輪選手

1984年6月22日生まれ。桑名市出身。四日市朝明高等学校卒業。2004年に日本競輪学校第90期生として入学。卒業後の2005年7月8日松阪競輪場でデビュー。初優勝は2006年3月13日の四日市競輪場。2011年、第31回アジア自転車競技選手権大会でのケイリン種目で優勝。7月の第20回寛仁親王牌・世界選手権記念トーナメント決勝で特別競輪初優勝を果たすと、9月の第54回オールスター競輪でも優勝。2011年から5年連続でKEIRINグランプリに出場し、2015年には初優勝を果たして賞金王も獲得した。2016年、四日市市スポーツ功労賞受賞。



《就任コメント》

凄い人達になるものと認識していた観光大使にまさか自分になれるとは思っていませんでした。選んでいただいたからには、四日市のために自分ができることをしっかりやり、四日市の魅力を発信していきたいと思えます。

・浅野 拓磨（あさの たくま） プロサッカー選手

1994年11月10日生まれ。菰野町出身。八風中学校、四日市中央工業高等学校卒業。高校選手権では3年連続で出場を果たし、第90回大会では史上4人目となる初戦から決勝まで全試合得点を挙げ大会得点王となった。2013年、サンフレッチェ広島とプロ契約を結ぶ。2015年、東アジアカップに出場する日本代表メンバーに初選出され、北朝鮮戦で代表初出場。Jリーグアウォーズ2015においてベストヤングプレイヤー賞を受賞。2016シーズンより背番号が「10」に変更。AFC U-23選手権にU-23日本代表として参加し、決勝の韓国戦で2得点を挙げ、リオオリンピック出場権の獲得に貢献。



《就任コメント》

私は高校生まで三重県で育ち、サッカーを通してさまざまな経験を積ませていただきました。地元の皆さんの熱心で温かいサポートもあり、そのおかげでプロ選手になることができました。少しでも皆さんに恩返しができるようにピッチに立てば全力でプレーしたいと思います。

・角野 友紀（かどの ゆうき） 水球選手

1990年9月14日生まれ。四日市市出身。(株)オフィス921、全日体大所属。常磐中学校、津田学園高等学校、日本体育大学卒業。小学生から津田スイミングスクール四日市チームで水球を始める。左利きを生かしたシュートを武器に津田学園高等学校時代に3年連続全国高校総体出場。3年時は主将を務める。日本体育大学時代にユニバーシアード出場。同大学卒業後も平成26年のアジア大会などに出場。昨年は世界選手権のほか、リオ五輪アジア予選を兼ねたアジア選手権に出場して優勝に貢献し、日本男子として32年ぶりの五輪出場を実現。



《就任コメント》

こんにちは。水球日本代表角野友紀です。四日市観光大使に任命していただきありがとうございます。水球競技は32年ぶりのオリンピック出場ということで、何事にも恐れず、全力で戦いたいと思います。また、四日市観光大使として、四日市市民の方々に応援されるよう、精一杯頑張ってきます。

・齋田 悟司（さいだ さとし） 車いすテニスプレイヤー

1972年3月26日生まれ、四日市市出身。株式会社シグマクス所属。12歳の時に骨肉腫により左下肢を切断、車いす生活に。14歳で車いすテニスを始める。1996年のアトランタ大会から5大会連続でパラリンピックに出場。2004年のアテネ大会では男子ダブルスで金メダル、2008年の北京大会では男子ダブルスで銅メダルを獲得。また2003年には、国際テニス連盟(ITF)が選出する「世界車いすテニスプレイヤー賞」を日本人選手として初めて受賞するなど、日本の車いすテニスのパイオニアであり、トッププレイヤー。



《就任コメント》

四日市市にはたくさんの魅力があります。コンビナートの夜景、萬古焼、伊勢茶、ながもち、とんてき等々。この地で育ったことを誇りに思います。交流が大好きなので、全国に世界に広めていきたいと思います！

・坂井 克行（さかい かつゆき） 7人制ラグビー選手

1988年9月7日生まれ。四日市市出身。豊田自動織機シャトルズ所属。四日市農芸高校、早稲田大学卒業。四日市農芸高校時代に2006年度高校日本代表に選ばれる。2013年ラグビーワールドカップセブンズ2013の日本代表に選ばれ、主将を務める。2014年アジア大会では金メダル獲得。2016年、リオオリンピックの日本代表に選出される。



《就任コメント》

この度、生まれ育った四日市市の観光大使就任となり大変嬉しく思います。ラグビーというスポーツを通じて四日市市という街がより元気な街になっていけるように頑張ってみます。

・谷口 雄也 (たにぐち ゆうや) プロ野球選手

1992年6月1日生まれ。四日市市出身。小学1年時から軟式野球を始め、6年時は四日市市トップエースに所属。笹川中学時代も同チームの中学部でプレー。2年時の春に全国大会準優勝を果たす。愛工大名電高に進学し、高校通算44本塁打。2010年10月28日、プロ野球ドラフト会議にて北海道日本ハムファイターズから5位指名を受ける。2012年から一軍に昇格し、2015年までの通算成績は、138試合に出場し、打率.243、本塁打位4本。2016年は、前半戦だけで62試合に出場し、打率.268、本塁打1本。



《就任コメント》

北海道日本ハムファイターズの谷口雄也です。僕は子どもの頃から野球ばかりの生活で、霞ヶ浦球場でのうれしかったことや悔しかったことがプロ野球選手になった今につながっています。また、四日市港コンビナートの夜景が気に入っています。今後、観光大使として四日市市がより一層注目されるように頑張ります

・宮下 遥 (みやした はるか) バレーボール選手

1994年9月1日生まれ。桑名市出身。大阪国際滝井高校卒業。小学校時に四日市市内のバレーボール少年団に所属。現在、プレミアリーグ 岡山シーガルズに所属する全日本メンバー。2009年5月、岡山シーガルズに選手登録され黒鷲旗に出場、14歳8ヶ月での出場は史上最年少。10月、日本期待の大型セッターとして、中学に在学中ながらプレミアリーグ・岡山シーガルズの内定選手となる。2009年11月28日、プレミアリーグ開幕戦で途中出場。15歳2ヶ月でのプレミアデビューは史上最年少。2010年3月23日、全日本女子チーム登録メンバー33名に選ばれ、史上4人目となる15歳での代表入り。2016年、リオオリンピック日本代表に選出。



《就任コメント》

このたび四日市市観光大使に任命していただいた、宮下遥です。バレーボールを通じて一人でも多くの方に四日市市を知って頂き、観光に来ていただけるよう、貢献していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

<音楽部門>

・井上 由美子 (いのうえ ゆみこ) 演歌歌手

1976年9月10日生まれ。藤井寺市出身。キングレコード所属。2003年に開催された文化放送の「走れ！歌謡曲」放送35周年記念演歌歌手オーディショングランプリを獲得して、2004年1月7日に「恋の糸ぐるま」でデビュー。2005年11月23日にファーストアルバム「ゆめ～片瀬波～」を発売。2007年8月に千葉県富津市の観光大使に任命。2009年1月7日に初めての単独コンサートを東京都新宿区の四谷区民ホールで行う。2006年4月～2014年3月まで文化放送「走れ！歌謡曲」のパーソナリティを務める(火曜日未明担当⇒木曜日担当)。



《就任コメント》

演歌歌手の井上由美子です。以前、パーソナリティーをしておりましたラジオ番組に、四日市の『こにゆうどう君』というラジオネームでお便りを下さるリスナーさんがいらっしゃいました！『こにゆうどう？』何の意味？と、?だらけだった私が、まさか『こにゆうどう君』の名刺を持たせて頂ける日が来るとは…(笑) なんだか不思議です。でも、きっとご縁があったのですね。とても嬉しく光栄です(^)/ 全国に四日市の魅力を発信していきたいです！どうぞ宜しくお願い致します！

・KUNI-KEN (くにけん) 三味線ロックユニット

四日市市出身。兄KUNIAKI、弟KENJIの兄弟ユニット。幼少より津軽三味線を習得し、2004年三重県文化新人賞を受賞。2005年愛・地球博 EXPO ドームにてワンマンライブを行い、満席 3,000 人を動員し注目を集める。インド、ドバイ、シンガポール、マカオ、マニラなどでの海外公演を行う中、ロックと融合したオリジナル曲はインドでCMタイアップソングとして起用され、国内ではCMタイアップソングの他、テレビ番組のBGM曲で起用されるなど国内外で話題を呼んでいる。2009年「世界フィギュアスケート国別対抗戦 2009 オープニングレセプション」にて出場6か国の国家を三味線で演奏。2010年アルバム「www.」でメジャーデビュー。2011年シンガポールで行われた経済産業省企画イベント「クール・ジャパン」に出演し、2016年にはミャンマー公演を成功させ、アジア発信のアーティストとして注目を浴びる。同年6月には、「四日市 STYLE in 名古屋」にも出演。



《就任コメント》

四日市で生まれ育ち、津軽三味線を習得し、これまで KUNI-KEN として活動してきました。振り返ってみると四日市拠点でなかったら今の KUNI-KEN がなかったように思えます。これからも四日市市出身としての誇りを胸に、活動を全国、世界へ向け励んでいきたいと思えます。(KUNIAKI)

観光大使任命のお声掛けを頂いた時、嬉しさと同時に生まれ育った四日市の記憶とこれまでの活動が走馬灯のように駆け巡りました。応援頂いた皆様へ感謝し、これからも地元四日市出身アーティストとして全国、世界へ活動していきたいです。(KENJI)

・シズオ・Z・クワハラ（しずお・ずいー・くわはら） 指揮者・音楽監督

1976年、日本人の両親のもと東京に生まれる。生まれて間もなく四日市に引っ越し、三滝台で暮らすも10歳でアメリカに移住。イーストマン音楽院を経て名門エール大学音楽科にて指揮を学ぶ。2002年、バージニア交響楽団のアシスタント・コンダクターに就任。2004年から2007年まで正指揮者を務める。2006年にはPMF パシフィック・ミュージック・フェスティバルにてヴァレリー・ゲルギエフのアシスタント・コンダクターを務めるとともに、同年12月に行われた東京国際指揮者コンクールに入選を果たす。同時に日本での活動を本格的に開始。これまでに日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団などと共演。2008年にはサイトウ・キネンフェスティバルにて小澤征爾のアシスタント・コンダクターを務めた。2008年11月には第4回ゲオルグ・ショルティ国際指揮者コンクールにて優勝。これを機にヨーロッパでの演奏活動を開始し、ドイツ放送交響楽団、キエフ国立フィルハーモニー交響楽団への客演を行っている。2009年7月よりジョージア州オーガスタ交響楽団音楽監督。



《就任コメント》

今回、観光大使として任命されることをとても光栄に思います。

私のふるさとである四日市市のために、芸術・文化を通じて世界各地でPRしていければと思います。